

## 平成32年度（2020年度）、平成33年度（2021年度）入学の地域枠定員について

### 1 背景（国の方針）

平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」において、暫定的な措置として、**平成32年度（2020年度）及び平成33年度（2021年度）の地域枠の定員については、平成31年度の地域枠の入学定員を超えない範囲で、その必要性を慎重に精査しつつ、現状の定員を概ね維持することとされた。**

### 2 医師不足の現状及び将来推計

平成31年2月18日に国で開催された「第28回医師需給分科会」において示された医師偏在指標（暫定値）では、愛知県は全国第27位で、医師多数県及び医師少数県以外の県に含まれることとなったが、全国平均以下である。また、**県内の二次医療圏では、海部、西三河南部東、東三河北部が医師少数区域**になっている。

なお、2036年時点の医師需給推計では、名古屋・尾張中部、尾張東部を除き、医師が不足することが見込まれている。

### 3 県の方針（案）

地域枠制度は、このような県内における医師偏在の解消を目的としたものであり、**多くの地域が全国平均を下回る本県の状況**からは、本制度の維持が強く求められるものと考えられる。

また、国の将来推計においても、尾張東部医療圏と名古屋・尾張中部医療圏以外は、医師が不足すると見込まれており、さらに、医師の働き方改革により、医師の時間外勤務の縮減が図られ、医師の需要が増大する可能性も考えられる。

したがって、県としては、国の方針により継続が可能となった**平成32年度（2020年度）と平成33年度（2021年度）の地域枠の入学定員については、現状の定員数（32名）を維持する方針**としたい。

### 【参 考】

#### ① 地域枠定員の状況

平成21年度に設置した名古屋大学3名、名古屋市立大学2名の計5名の地域枠については、当初、平成29年度までの時限措置とされていたが、国の方針により2年間（平成30～31年度）の延長が可能とされたため、平成28年度の地域医療支援センター運営委員会において協議し、県として2年間延長する方針が承認された。

年度	増員数		増員期間	今回案
平成21年度定員増	5 枠	名大 3 枠 名市大 2 枠	21～29年度（当初） <b>30～31年度（延長）</b>	
平成22年度定員増	5 枠	名大 2 枠 名市大 3 枠	22～31年度	
平成24年度定員増	5 枠	愛知医大 5 枠 名市大 2 枠	24～31年度	
平成27年度定員増	10 枠	愛知医大 3 枠 藤田医大 5 枠	27～31年度	
平成28年度定員増	7 枠	愛知医大 2 枠 藤田医大 5 枠	28～31年度	
計	<b>32 枠</b>			

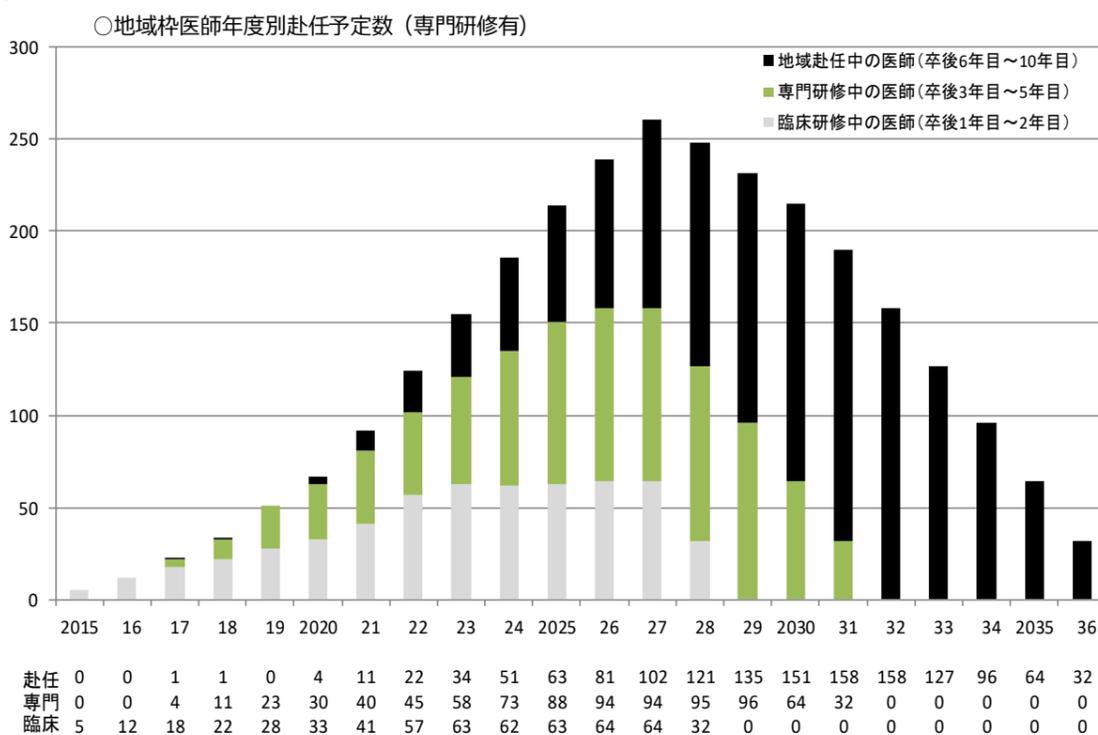
### ② 地域枠定員及び入学者数

入学年度	合計		内訳							
	定員	入学者数	名大		名市大		愛知医大		藤田医大	
			定員	入学者数	定員	入学者数	定員	入学者数	定員	入学者数
平成21（2009）	5	5	3	3	2	2				
平成22（2010）	10	10	5	5	5	5				
平成23（2011）	10	10	5	5	5	5				
平成24（2012）	15	15	5	5	5	5	5	5		
平成25（2013）	15	15	5	5	5	5	5	5		
平成26（2014）	15	15	5	5	5	5	5	5		
平成27（2015）	25	25	5	5	7	7	8	8	5	5
平成28（2016）	32	32	5	5	7	7	10	10	10	10
平成29（2017）	32	30	5	3	7	7	10	10	10	10
平成30（2018）	32	31	5	5	7	7	10	10	10	9
平成31（2019）	32	32	5	5	7	7	10	10	10	10
合計	223	220	53	51	62	62	63	63	45	44

※1：平成22年度入学1名、23年度入学1名が制度離脱（修学資金返還済み）

※2：平成31年度入学者数は見込み数

### ③ 今後の派遣見込（2019年度～2021年度入学予定者数を含む）



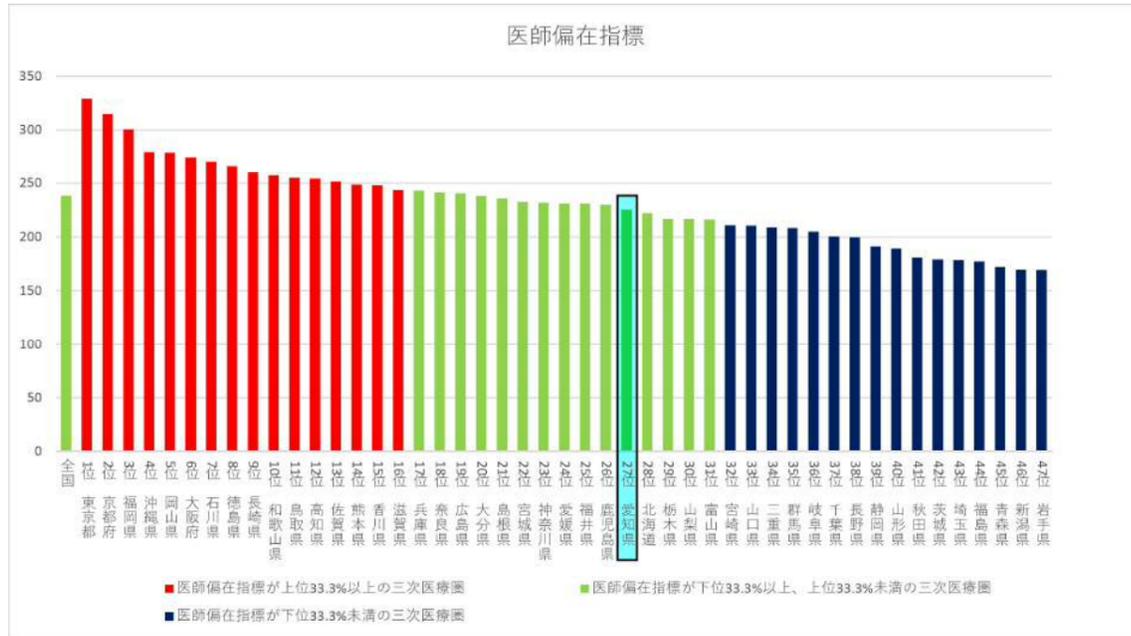
※1：専門研修の期間を3年間とした場合の予定数である。

※2：平成31年2月時点で判明している留年等を考慮してある。

三次医療圏

参考資料2

精査中



順位	都道府県	医師偏在指標
	全国	238.3
1位	東京都	329.0
2位	京都府	314.9
3位	福岡県	300.5
4位	沖縄県	279.3
5位	岡山県	278.8
6位	大阪府	274.4
7位	石川県	270.4
8位	徳島県	265.9
9位	長崎県	259.4
10位	和歌山県	257.2
11位	鳥取県	255.0
12位	高知県	254.3
13位	佐賀県	251.3
14位	熊本県	248.5
15位	香川県	247.8
16位	滋賀県	243.5

順位	都道府県	医師偏在指標
17位	兵庫県	243.0
18位	奈良県	241.1
19位	広島県	240.4
20位	大分県	238.0
21位	島根県	235.9
22位	宮城県	232.7
23位	神奈川県	231.8
24位	愛媛県	231.0
25位	福井県	230.9
26位	鹿児島県	229.8
27位	愛知県	225.3
28位	北海道	222.0
29位	栃木県	216.7
30位	山梨県	216.4
31位	富山県	216.2

順位	都道府県	医師偏在指標
32位	宮崎県	210.6
33位	山口県	210.3
34位	三重県	208.8
35位	群馬県	208.2
36位	岐阜県	204.7
37位	千葉県	200.5
38位	長野県	199.6
39位	静岡県	191.1
40位	山形県	189.4
41位	秋田県	180.6
42位	茨城県	179.3
43位	埼玉県	178.7
44位	福島県	177.4
45位	青森県	172.1
46位	新潟県	169.8
47位	岩手県	169.3

医師偏在指標（二次医療圏）

医療圏	都道府県名	医療圏名	医師偏在指標	順位
全国			238.3	
2302	愛知県	海部	143.3	233
2304	愛知県	尾張東部	431.3	5
2305	愛知県	尾張西部	193.6	110
2306	愛知県	尾張北部	166.2	169
2307	愛知県	知多半島	158.5	186
2308	愛知県	西三河北部	176.9	145
2309	愛知県	西三河南部西	189.3	121
2310	愛知県	西三河南部東	143.6	231
2311	愛知県	東三河北部	87.9	327
2312	愛知県	東三河南部	173.2	151
2313	愛知県	名古屋・尾張中部	288.8	46

上位33.3%
下位33.3%

(全国335医療圏中)